

おにぎり通信

2016年 6月4日 (土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

蒸し暑い日が続いています。気象庁の1951年から2015年までの関東地方の梅雨入り時期のデータによると、最も早い梅雨入りは1963年の5月6日頃で、最も遅い梅雨入りは1967年と2007年の6月22日頃でした。平成22年(2010年)までの過去30年の平均は6月8日頃ですが、今年にはたしてどうなるでしょうか。

〈福祉行動報告〉 5月23日(月)

Aさん(50代) 港区福祉事務所で生活保護を申請され、品川区内の保護施設への入所が決まりました。

次回の福祉行動：6月6日(月) 東京駅丸の内北口地下に朝8時30

分までに集合してください。喫煙所の近くにあるコンビニの並びの赤

富士の絵のところに「おにぎり通信」を持った者が待機しますので、

声をかけてください。病院に行きたい方や、体を休めたい方と一緒に「福祉

事務所」まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は毎週月曜日(月曜日が

祝日のときは火曜日)です。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の

希望をご自身の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます。

最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

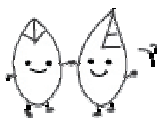
千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

こ ぎゃくたい ひんこん かいごなんみん せだい にんげん
子どもの虐待・貧困から介護難民まで、あらゆる世代にわたって人間としての
そんげん れっか きわだ にほん いま すがた
尊厳の「劣化」が際立ってきているのが、日本の今の姿です。

さんだいよ ば ひと おおさか かま さき さと ひんこん ぎゃくたい こ
三大寄せ場の一つ、大阪の釜ヶ崎に「こどもの里」という貧困や虐待から子ども
まも しせつ さと こ
を守っている施設があります。「こどもの里」の子どもたちは、ボランティアと一
しよ よまわ ろじょう ね お ひと あたた する
緒に夜回りをして、路上で寝起きをしている人たちに、おにぎりや温かい汁ものを
ていきょう つか す もうふ くば
提供したり、使い捨てカイロや毛布を配ってまわっています。

ねん まえ よまわ さい
2年ほど前のことになりますが、夜回りをしていたボランティアが、80歳くら
こうれいしゃふうふ ろじょう ふる はっけん しんせき かま さき い いえ
いの高齢者夫婦が路上で震えているのを発見した。親戚から「釜ヶ崎に行けば家が
なくてもなんとかなるだろう」と言われて連れてこられて置き去りにされたとい
う。まるで粗大ゴミの不法投棄のように。真冬の寒さに震える老夫婦が夜を越すこ
となどできるわけがないと、すぐに「こどもの里」に連れ帰り、泊めたという。翌
じつ ざいたく あつ ふうふ にゅうしょ しせつ さが
日、在宅ケアのプロたちが集まって、この夫婦が入所できる施設を探したところ、
とくべつようごろうじん ほご
特別養護老人ホームに保護してもらおうことになったといいます。

みんかん ひかく やす けいひ はい とくべつようごろうじん にゅうしょもう こ
民間に比較して安い経費で入れる特別養護老人ホームですが、入所申し込みをし
たいき ひと たいきろうじん ねん がつげんざい ぜんこく やく まんにん
て待機している人（待機老人）は2014年3月現在、全国で約52万人とされて
います。その一方で、空き部屋があるのに入所させない施設が少なからずあるとい
います。その理由の一つは介護職員の不足ですが、もう一つは、かつては国が半分、
しちょうそん ぶん はんぶん ふたん ちほうじちたい ぜいげんいじょう
市町村が4分の1から半分を負担していましたが、地方自治体への税源移譲にと
もない2005年度から市町村の全額負担（入所者負担分を除く）となりました。
これを機に、財政が厳しい市町村では、空きがあっても特別養護老人ホームには入
れず、くに ぶん ひょう ふたん せいかつほご う そちひか
国が4分の3の費用を負担する生活保護などを受けさせる（これを「措置控
え」といいます）ケースが相次ぐようになってきているそうです。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ
ばこ い かたづ きょうりよく ねが
箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは
かならずその日のうちにお召し上がり下さい。一人でも多くの方に召
しあがっていただくため、おにぎりは一人一個でお願いいたします。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：080-7795-8535